HOUSE PLUS

受 付 日 ： 平 成 25 年 12 月 19 日
受付番号 ： Ｈ Ｐ １ ３ － Ｋ Ｔ １ ３ ２

接合部性能試験成績証

東 京 都 港 区 芝 5 － 3 3 － 7
徳 栄 ビ ル 本 館 4 階
ハ ウ ス プ ラ ス 確 認 検 査 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 矢 ケ 部 英 夫

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成26年1月31日

1. 接合金物名称	リフォーム用羽子板セット
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(中柱型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定 「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	1) 接合金物 『リフォーム用羽子板セット』 「W羽根Uビスタイプ」 材　質：SPHC(JIS G 3131[*1]) 寸　法：40mm×52.7mm×100mm (外形)　板厚t=4.5mm、t=3.2mm 接合具用孔　4-φ6mm 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM2 C (JIS H 8610[*2]及びJIS H 8625[*3]) 「オメガ丸座金70」 材　質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18～0.23%　Mn;0.30～0.60%　P;0.030%以下　S;0.050%以下 寸　法：φ70mm×35mm(外形)　M12　板厚t=6mm　接合具用孔 3-φ8mm 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM 2 C (JIS H 8610[*2]及びJIS H 8625[*3]) 「六角ボルトM12-110」 材　質：強度区分4.6を満たす炭素鋼(JIS B 1180[*2]) 寸　法：M12　φ10.6　L=110mm 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM2 C (JIS H 8610[*2]及びJIS H 8625[*3]) 「M12用平ワッシャー」 材　質：SPHC(JIS G 3131[*1]) 寸　法：φ26mm(内径φ13mm)　板厚t=2.3mm 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM 2 C (JIS H 8610[*2]及びJIS H 8625[*3]) 2) 接合具 W羽UビスタイプΠ用：「木ねじ　TBA-65」 4本 材　質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18～0.23%　Mn;0.70～1.00%　P;0.030%以下　S;0.050%以下 寸　法：ねじ部φ6mm×L65mm　頭部φ9.3mm 表面処理：エコートWH[*4]処理 オメガ丸座金70用：「木ねじ　TBB-75」 3本 材　質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.18～0.23%　Mn;0.70～1.00%　P;0.030%以下　S;0.050%以下 寸　法：ねじ部φ7.2mm×L75mm　頭部φ10.8mm 表面処理：エコートWH[*4]処理 3)軸組材料 柱：105mm×105mm×600mm　スギ　無等級材 含水率:9.0～11.5%　全乾密度:0.37～0.43g/cm^3 横架材：105mm×105mm×1000mm　スギ　無等級材 含水率:9.0～11.0%　全乾密度:0.37～0.40g/cm^3 *1 JIS G 3131 熱間圧延軟鋼板及び鋼帯　*2 JIS H 8610 電気亜鉛めっき *3 JIS H 8625 電気亜鉛めっき及び電気カドミウムめっき上のクロメート皮膜 *4 エコートWHは、NOFメタルコーティングス株式会社の登録商標
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 「W羽根Uビスタイプ」と「オメガ丸座金70」は「六角ボルトM12-110」を用いて手締めにてとめつけた。 試験体は、柱芯から横架材両木口側400mmの位置でM12六角ボルト・ナット及び角座金W4.5×40を用い、鉄骨架台と緊結した(締付トルク管理値:20N・m)。
7. 試験結果	短期基準接合耐力 11.9 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター：神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成25年12月24日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎　道場 信義　千葉 博　加川 啓介　土屋 江利佳

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。